

# 解説「わかりやすいXML / EDI」

## 第4回 ビジネスプロセスとは

今回から3回に分けて、e b XMLの要となる「ビジネスプロセス」「コアコンポーネント」「メッセージサービス」について、e b XMLに基づくXML / EDI標準を作成あるいは導入する場合に必要なと考えられるポイントについて、解説することとします。

今回は、ビジネスプロセスについて解説します。

### 1. ビジネスプロセスとは

ここでいうビジネスとは「企業間取引」のことを指し、ビジネスプロセスとは企業間取引に係わる活動を実現するための手段をいいます。

これまでのEDIは、メッセージをまとめて送るバッチ型プロセスを対象としており、企業間取引プロセスは比較的単純であったため、ビジネスプロセスにはあまり重きを置かず、EDI標準ではどちらかというメッセージを中心に定義をしてきました。

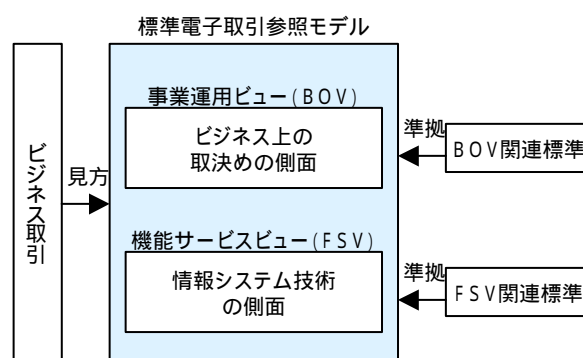
しかし、問合わせ、製品仕様交換、見積り調整などのコラボレイティブ型プロセスを対象としたXML / EDIでは、取引シナリオ、取引条件などのビジネスプロセスを企業間で詳細に定める必要がでてきました。

ビジネスプロセスをきちんと定めることにより、取引企業間の取引トランザクションとその交換順序、交換条件などが明確となり、XML / EDIの導入が円滑に進められるようになります。

### 2. ビジネスプロセスモデルの位置付け

e b XMLでは、図 - 1 に示す標準電子取引参照モデル<sup>1</sup>に基づいてEDI標準を作成することとなっています。

図 - 1 e b XML 推奨モデリング手法



EDI標準を業務運用ビュー(BOV<sup>2</sup>)と機能サービスビュー(FSV<sup>3</sup>)とに明確に区別して定義することにより、相互運用性とレガシーシステムとの互換性を保証しています。BOVではビジネスプロセスやコアコンポーネントに関する事柄を記述し、FSVではビジネスドキュメント(メッセージ)を取引相手に確実に届けるためのメッセージサービスなどに関する事柄を記述します。

標準のビジネスプロセスモデルを業界単位で定め、個々の企業はこの標準ビジネスプロセスモデルを参照のうえ取引企業間でビジネスプロセスの合意を取り、XML / EDI取引を開始することとなります。

### 3. ビジネスプロセスモデルの記述

e b XMLでは、ビジネスプロセスモデルの作成はUN / CEF ACTモデリング手法(UMM)に基づいて行い、ビジネスプロセスの記述は統一モデリング言語(UML)のモデル図で表現することが推奨されています。しかし、この手法はe b

<sup>1</sup> Open edi Reference Model, ISO 14662, JIS X7001

<sup>2</sup> Business Operational View

<sup>3</sup> Functional Service View

XML取引に参加するための必須要件ではありません。

e b XMLによるビジネスプロセスモデリングは、要件フェーズ、分析フェーズ、設計フェーズの3段階で行います。

モデリングの各フェーズで、ビジネスプロセスの内容と流れ、各ビジネスプロセスで利用する取引情報（ビジネスドキュメント）の種類、ビジネスドキュメントの内容などを明らかにしていきます。

それぞれのフェーズで作成される主なモデル図を図 - 2 に示します。

これらのモデル図を全て作成する必要はありませんし、モデリング作業の一時的なモデル図として作成する場合がありますので、最終的なビジネスプロセスモデルおよびビジネス情報モデルとし

図 - 2 モデリングの手順と生成物

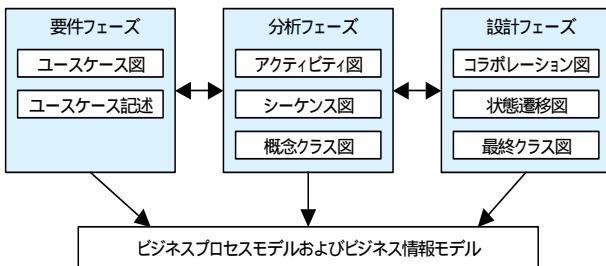
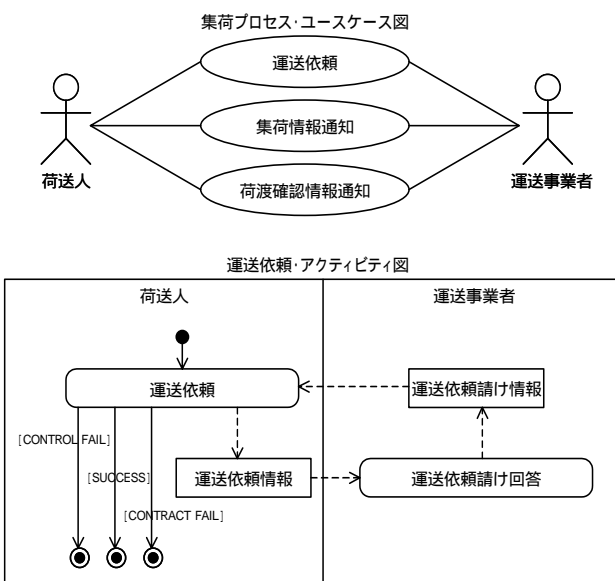


図 - 3 ビジネスプロセスモデルの記述例



て整理するモデル図を取捨選択します。

モデル図はUMLの記述手法に基づいて作成しますので、モデル図の作成方法などの詳細はUML解説書などを参照してください。

図 - 3 にビジネスプロセスモデルの記述例を示します。

ユースケース図は運送業務の集荷プロセスを対象としたもので、集荷プロセスは荷送人と運送事業者の間で、運送依頼、集荷情報通知、荷渡確認情報通知の3つのビジネスプロセスが実行されることを示しています。アクティビティ図はユースケース図で示した運送依頼ビジネスプロセスを対象としたもので、そのビジネスプロセスで実行されるトランザクションの流れを示しています。

#### 4. ビジネストランザクションパターン

UMMでは、取引トランザクションの標準パターンとして、以下の6つのパターンが提示されています。

##### ビジネストランザクションパターン

照会 / 応答パターン [ 静的情報の取得 ]

要求 / 応答パターン [ 動的情報の取得 ]

要求 / 確認パターン [ 状態情報の取得 ]

情報分散パターン

通知パターン

図 - 3 のユースケース図に示したビジネスプロセスのうち、運送依頼プロセスではビジネストランザクションパターンを使用し、集荷情報通知プロセスと荷渡確認情報通知プロセスでは通知パターンを使用することとなります。

#### 5. ビジネスプロセス仕様スキーマ

ビジネスプロセスモデルから、EDIシステムの実行に必要なビジネスプロセスを抽出し仕様として記述したものをビジネスプロセス仕様スキーマ(BPSS)といいます。

このBPSSをXMLで記述することにより、ビジネスプロセス仕様をEDIシステムに自動的に取込むことが可能となります。

( 武山 一史 )